

安倍政治に終止符を

「桜」「カジノ」「中東」など通常国会での論戦始まる 改憲発議を許さない緊急署名を大きく広げよう

通常国会が1月20日に召集され、昨年来の「桜を見る会」をめぐる安倍首相の税金私物化・違法な公文書の破棄、IR（カジノ）にかかわる汚職疑惑や、国会での審議もなしに年明けに閣議決定した中東への自衛隊派兵など国会での論戦が始まります。安倍首相は、野党の一致した追及と国民の怒りで崖っぷちまで追い詰められていますが、NHKのインタビューで「私自身の手で憲法改正を成し遂げたい」と述べて改憲に執念を燃やしています。

1月19日、札幌で「戦争をさせない総がかり行動」がおこなわれました。この日の行動では、国会内外のたたかいをさらに強めて安倍政権を退陣に追い込もうと決意を固めあいました。また、安倍9条改憲を許さない「改憲発議に反対する全国緊急署名」を大きく広げる訴えもされました。

9～12月の組織拡大68人 トラック職場で一気に9人が加入

1月11日の全道支部・部会代表者会議で2019年秋の組織拡大の到達点が報告されました。職場内での組合員拡大は、12月にトラック職場で一気に9人が建交労に加入するという大きな前進がありました。労災職業病部会では9～12月に労災認定などの要求で28人が加入し、十勝建設支部で建設現場労働者27人が加入するなど、ダンプ・学童保育・労働相談での加入者をふくめて68人となっています。

労災職業病部会

11～12月の新規認定32件

各地で「健康相談会」の準備すすむ

道本部労災職業病部会は昨年11～12月の新規認定のとりくみをまとめました。認定件数は32件で、内訳は振動障害・17件、じん肺・2件、アスベスト疾患・1件、騒音性難聴・8件と遺族補償・8件（じん肺・1+アスベスト・1）です。

また、各地で「健康相談会」の準備がすすめられており、函館支部（既報）のほか、釧路支部（1月26日/2月2日）、旭川支部（3月8日/3月15日＝旭川/4月5日＝名寄/4月12日＝富良野）、苫小牧（3月7日）、千歳（3月8日）、美幌・北見（3月28～29日）での開催が決まっています。釧路支部には自治体の広報に載った記事を見た人からの相談がすでに来ています。